



岩江中だより

第 8 号
 発行日：平成 28 年 6 月 23 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 E-mail：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【陳列棚がトロフィー、カップ、盾でいっぱいになりました！】

6月14日（火）の中体連総合大会県中大会に、本校代表、田村支部代表として、男子卓球部が出場しました。校務センター脇の陳列棚には、新人戦優勝、総合大会優勝などのトロフィーが棚いっぱい飾られています。本校の輝かしい歴史に新たな1ページを加えてくれた男子卓球部のメンバーや顧問の先生に対し心から賛辞をおくりたいと思います。また、ご指導をいただきました影山さん、佐久間さんにも心より感謝申し上げます。

県中大会に先立つ6月10日（金）には、本校において、県中大会、県中水泳大会の激励会が実施されました。応援生徒の期待を全身にまとい、決意を新たにする機会ともなりました。

県中大会当日朝は、昇降口前にきちんと整列し、教頭先生に出発のあいさつを、大会会場の西部体育館では、これまでの練習の成果を発揮しようと、チーム一丸となって大会に臨んできました。団体戦、個人戦と大会は進行し、個人1名が県大会の出場権を見事獲得しました。

選手のみなさん、卓球部のみなさん、影山さん、佐久間さん、先生方、本当にお疲れ様でした。



【教育実習生、奮闘中！ ～教職に携わることをめざして。～】

6月6日（月）から3週間、教育実習生が、教員採用をめざし教育実習に取り組んでいます。

教科の指導など、大学で学んだことを確かめようと、岩江中の生活に臨んでいます。日々、苦戦の連続のようですが、ぜひ、すばらしい先生になってね！



【福島民報社田村支局長さんが来校されました。～熊本地震義援金を託しました。～】

生徒会が取り組んだ熊本地震に対する義援金の委託が、福島民報田村支局長さんを学校にお迎えし行われました。

新聞にも報道されましたが、生徒会執行部が中心となって取り組んだ募金活動の成果を、新聞記者さんの取材をうけながら手渡しいたしました。自身等で被災なされたみなさんに、



本校の子どもたちの思いが届くことを願います。

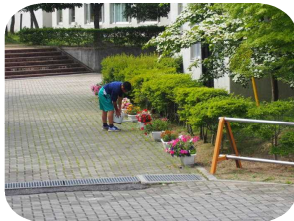
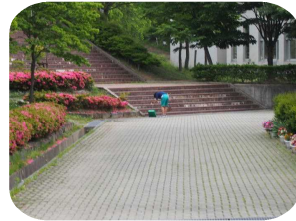
【きれいな学びの環境づくり！～地域のみなさん、子どもたち、ありがとうございます。～】

右の写真は何を映したものでしょうか。特に白黒ではよくわからないと思います。床のタイルをご覧ください。きれいに掃き掃除された昇降口の写真です。もう1枚は、縁石付近をご覧ください。草が削られたきれいな学校とは反対側の横断歩道の様子です。

先日、7時過ぎに出勤すると、右側の写真の床の上は、靴底にたまったドロの乾いた土で汚れていました。一旦その場を離れ、また戻ってみるときれいに掃かれています。誰がやってくれたのかわかりませんが、汚れに気づき、その汚れをきれいに掃除してくれるのが、岩江中学校の生徒・先生です。また、横断歩道に行つてはじめて気がついたのが、先週まであった縁石に生えていた草がきれいになっていることでした。地域のみなさんでしよう。地域のみなさんの善意がきれいになった歩道・縁石に強く感じられました。子どもたちも私たちも気持ちよく登下校・出退勤できます。ありがとうございました。



学びの環境づくりに人知れず取り組んでいる生徒のみなさん、先生方、きっと、その気持ちはみなさん自身に信頼という形で帰ってきます。また、歩道をきれいにしていただいた地域のみなさん、本当にありがとうございました。何気ない風景の中のすばらしい出来事でした。



【本年度も、人権の花をいただきました。】

～みんなで大切に育て、命のかけがえのなさについて考えます。～】

本年度も、人権擁護委員のみなさんと事務局員の方が本校に来訪され、たくさんの『人権の花』やプランター、土などをいただきました。

早速、子どもたちと先生方が一緒になり、一つ一つのプランターに土を入れ、ポットに植えられた花々を移し替えました。

『人権の花』という趣旨にあらうよう、子どもたちは、日々、これらの花々を目にし、水をやり、世話をし、大切に育てています。いただいた時、葉っぱだけだった花にも、今はきれいな赤い花卉が開いています。命のかけがえのなさ、すばらしさを語っているようです。

